

「こんにちはあ♡オナニー補助用画像のルイです♡
今日は私でいっっっっぱいシ〇シ〇オナニーしてねえ♡んふふっ♡」



「じゃあチンポ出して♡それとももう出してるかしら？
あはぁ♡素敵なチンポお♡今からオナニーで射精させられますって
情けないニオイがムンムン♡画面の向こう側まで伝わってきてる♡
それに臭そう…♡いいのよお♡どんなに臭くて
きつたなぁ♡チンポでも大歓迎♡
だって画面の向こうで
シコシコされるだけだもの♡」



「どう？勃起してきた？じゃあまずは私のこのスケベな身体で
シ〇シ〇してみて♡んふふ♡ほらあ…自由に触っていいのよ♡
もっとうちきて…手でも口でもチンポでもお…
自由に私の身体にくっつけていいのよ…♡
画面を通してだけど♡あはっ♡」



「シコシコしてる？見せて見せて♡
画面の前で一人でチンポシコシコしてるの見せてっ♡♡♡
ほら…こうして見てあげるからぁ♡目線の先にチンポ出して
シゴいてえ♡♡あっはぁ♡♡ホントにシゴいてるっ♡
気持ちいい？画像の言いなりにシコるのお♡
ほらっ♡もっとシコシコしてっ♡♡
シコシコ♡シコシコ♡♡んふふっ♡♡」



「それじゃそろそろ射精してみてえ♡
ほらっ♡もっと激しくシコシコっ♡♡♡シコシコシコシコっ♡♡♡
もっごち来てえんっ♡ほらっ♡固あい画面に顔近づけてっ♡
マンコでもおっぱいでもっ♡♡口にキスしてもいいわ♡
画面をペロペロに汚しながらシコシコしてっ♡
そっちのが興奮するわよっ♡♡♡シコシコっ♡♡♡
シコシコシコシコシコシコっ♡♡♡」



「んっ♡あはああゝゝゝゝゝ♡あつゝゝゝゝゝ♡
ザーメンかかっているうゝゝゝんっ♡♡♡
もっとかけてっ♡♡オナニーザーメンかけてっ♡♡」



「ん……？何してるの？だめよぉ♡ティッシュなんか射精しちゃあ
ほらっ♡今すぐスマホかタブレットにこの画像映してっ♡
画面にぶっかけてっ♡♡ぶっかけてえんっ♡♡
それじゃもう一回いくわよ♡」



「んっはぁぁぁ——っ♡♡♡かかっているっ♡♡♡
オナニーザーメンっ♡♡♡ティッシュの代わりになっ♡♡♡画面越しに
ぶっかけられてるっ♡♡♡おっ♡♡♡おほおっ♡♡♡熱いっ♡♡♡くさあいつ♡♡♡
あはぁ♡♡♡最高おっ♡♡♡画面越しぶっかけえっ♡♡♡
最高おおんっ♡♡♡おおおおおっ♡♡♡」



「どうっ？気持ちよかった？私はすっごく気持ちよかったわぁ
少しだけイケナイことした気分でしょっ？んふふっ♡」



「でもぶっかけられなかった人もいるわよね♡
仕方ないわ…スマホもタブレットも大切なもの♡
でもあなたのシコリ出したザーメンも無駄にしないわ♡」



「んんんっ♡♡あはあああっ♡あっ♡んんんっ♡♡
ここの世界にまでえっ♡ザーメン届いたみたあいつ♡♡
あつはあつ♡気持ちいいっ♡♡シコって♡ティッシュに出して
ゴミ箱行きのザーメンが異世界転生いっ♡♡
増量して私にぶっかかてるうっ♡♡
んんっ♡ああんっ♡♡」



「んっ…ふうう…♡♡気持ちよくオナニーできたかしら♡
それじゃあ次はもっつと気持ちいいオナニー…♡私と一緒にしましょ♡」



「まずはあ…このチンポにオナニーしてもらうために
造られた身体でシコシコしましょうか♥
：オナニー補助用女体を使うのははじめて？
私はもともと学校の先生しててこんなエッチな仕事に
興味もなかったはずなんだけど…」

オナニー補助用女体に
選ばれて勝手に人格も身体も全部造り直されて
こうなっちゃったの♥でも今の生活はとっても幸せ
あつ…今の話でチンポ勃起してきた？
それじゃ好きにシコシコしていいわよ♥
あくまでオナニーだから触りはNGだからね♥」

